

世羅町バイオマス産業都市構想



広島県世羅町

目次案

1. 地域の概要.....	1
1.1 対象地域の範囲	1
1.2 作成主体	1
1.3 社会的特色.....	1
1.3.1 歴史・沿革	1
1.3.2 人口	1
1.4 地理的特色.....	3
1.4.1 位置	3
1.4.2 地勢・地形	3
1.4.3 交通体系	4
1.4.4 気候	5
1.4.5 面積	6
1.5 経済的特色.....	6
1.5.1 産業別人口	6
1.5.2 産業別事業所数	7
1.5.3 農業	7
1.5.4 林業	8
1.5.5 商業	9
1.5.6 工業(製造業)	10
1.5.7 町内総生産額の推移.....	10
1.6 再生可能エネルギーの取組.....	11
2. 地域のバイオマス利用の現状と課題.....	12
2.1 バイオマス賦存量と現在の利用量.....	12
2.2 バイオマス活用状況と課題.....	15
3. 目指すべき将来像と目標	17
3.1 背景.....	17
3.2 目指すべき将来像.....	18
3.3 達成すべき目標	19
3.3.1 計画期間	19

3.3.2 バイオマス利用目標	19
4. 事業化プロジェクトの内容	21
4.1 基本方針	21
4.2 低級油脂の燃料化・リサイクル事業	22
4.3. バイオガス発電事業	25
4.4. 木質バイオマスガス発電事業	28
4.5. バイオ炭事業	30
5. 地域波及効果	33
5.1 経済波及効果	33
5.2 雇用創出効果	33
5.3 温室効果ガスの削減	34
5.4 環境教育の促進	34
5.5 森林環境の保全	34
6. 実施体制	35
7. フォローアップの方法	37
8. 他の地域計画との有機的連携	41

1. 地域の概要

1.1 対象地域の範囲

本構想の対象地域の範囲は、広島県世羅郡世羅町とします。

1.2 作成主体

本構想の作成主体は、広島県世羅郡世羅町とします。

1.3 社会的特色

1.3.1 歴史・沿革

世羅町は、縄文時代の石器や土器片、弥生時代の集落跡などが多く発見されており、古くから人々が住み生活を営んでいたことがわかっています。古墳時代には住居跡等の遺跡のほか、康徳寺古墳に代表される数多くの古墳も確認されており、この地域に集落が多数形成されていたことがうかがえます。

大化の改新の頃に、この地域の「郷」などを集めて世羅郡が置かれました。平安時代には庄園が設けられ、現在の世羅町の大部分が「大田庄」として統治されます。

開発領主である橘氏から平清盛の子重衡に、重衡から後白河法皇へと寄進され栄えました。平家滅亡後、法皇は大田庄を紀州高野山に寄進したため、世羅町地域は、今も残るこの庄園を管理した政所寺院である「今高野山龍華寺」を中心に発展しました。

戦国時代を経て、安土桃山時代には「村」が置かれ、近代統一国家社会へと基盤を作り始めました。明治 22 年の市町村制施行で 13 の村となり、明治 31 年には甲山町が町制を施行しました。その後、昭和の大合併では、世羅郡に甲山町・世羅町・世羅西町の三町が誕生し、さらに平成 16 年 10 月 1 日に三町が合併し現在の「世羅町」となりました。



1.3.2 人口

(1) 人口

世羅町の総人口は、“ベビーブーム”の効果などから、昭和 25 年（1950 年）に 34,029 人に達しました。その後は、農村部から都市部への人口流出に伴い、総人口は減少基調を辿り、平成 22 年（2010 年）にはピークである昭和 25 年（1950 年）の約 5 割に相当する 17,549 人となりました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和 22 年（2040 年）における総人口は 11,053 人（平成 22 年（2010 年）比▲37.0%）まで減少する見通しです。年齢別では、生産年齢人口（15 ～ 64 歳）と年少人口（0 ～ 14 歳）が減少するのはもちろんですが、これまで増え続けてきた老年人口（65 歳～）も減少に転じ、本格的な人口減少時代に突入します。

(2) 世帯数

世羅町の一般世帯数は、昭和50年(1975年)から平成17年(2005年)まで総じて増加基調で推移しました。人口が減少しているにもかかわらず、世帯数が増加してきた理由として、核家族や単身者世帯が増加し、1世帯あたりの人数が減少していることがあげられます。このように、1世帯あたりの人数が減少するなかで、65歳以上の高齢者が一人暮らしをする世帯も増えています。一人暮らし高齢者世帯の割合は、世羅町では13.6%に達しており、備後圏(10.3%)や広島県全体(10.1%)より高くなっています。

図表 1-1 人口及び世帯数の推移(年齢3区分人口)

単位: 人、%

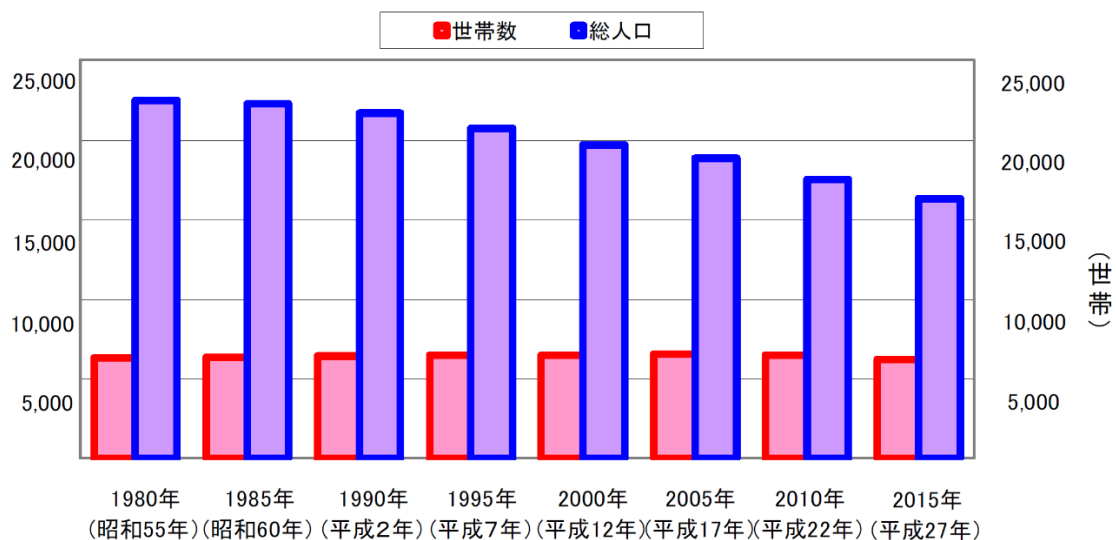
産業 年度	総人口	世帯数	年齢3区分人口					
			14歳以下		15歳～64歳		65歳以上	
				構成比		構成比		構成比
1980年 (昭和55年)	22,483	6,339	4,253	18.9	14,229	63.3	4,001	17.8
1985年 (昭和60年)	22,276	6,383	4,215	18.9	13,597	61.0	4,464	20.0
1990年 (平成2年)	21,684	6,466	3,700	17.1	12,783	59.0	5,201	24.0
1995年 (平成7年)	20,735	6,512	3,230	15.6	11,606	56.0	5,899	28.4
2000年 (平成12年)	19,690	6,493	2,636	13.4	10,580	53.7	6,474	32.9
2005年 (平成17年)	18,866	6,588	2,251	11.9	10,030	53.2	6,585	34.9
2010年 (平成22年)	17,549	6,504	1,972	11.2	9,268	52.8	6,309	36.0
2015年 (平成27年)	16,337	6,224	1,766	10.8	7,876	48.2	6,515	39.9

※平成27年: 年齢不詳があったため、総人口と異なる。

資料: 国勢調査

出典: 「統計データブック 2020年12月」世羅町

図表 1-2 人口及び世帯数の推移



出典: 「統計データブック 2020年12月」世羅町